

PRESS RELEASE

報道関係各位

日頃は、大変お世話になっております。11月1～6日、花巻市で、全日本学生ハンドボール選手権大会が開催されます。4年間の有終の美を飾るべく、全国8ブロックの精鋭が頂点を目指し激しいゲームを展開します。

富士大学と秋田大学の男女、東北福祉大学女子がどこまで勝ち進めるか。また、関東の有力チームの県出身選手が故郷に錦を飾る熱いプレーにどうぞご注目ください。別紙のとおり日本代表候補選手が多数出場するスケールの大きいスピーディーで激しい攻防が繰り広げられるゲームと特別企画の取材報道をお願いできれば幸甚に存じます。

差し迫ってのご案内で恐縮ですが、何卒よろしく申し上げます。

早々

《 日程 》

- 11月1日(火) [花巻市総合体育館]
 13:00～審判講習会 14:00～ 審判・マッチバイザー会議 15:00～ 代表者会議
 16:30～ オープニングアトラクション【花巻農業高校鹿踊】、開会式
 18:30～ 歓迎レセプション(花巻温泉ホテル千秋閣)
- 11月2日(水) 競技1日目
 9:30～ 男子1回戦 16試合 [花巻市総合体育館、花巻市民体育館]
 女子1回戦 10試合 [花巻市民体育館、富士大学スポーツセンター]
- 11月3日(木) 競技2日目
 10:00～ 男子2回戦 8試合 [花巻市総合体育館]
 女子2回戦 8試合 [花巻市民体育館、富士大学スポーツセンター]
- 11月4日(金) 競技3日目
 10:00～ 男・女3回戦 8試合 [花巻市総合体育館]
- 11月5日(土) 競技4日目
 10:00～ 男・女準決勝 4試合 [花巻市総合体育館]
- 11月6日(日) 競技5日目
 10:00～ 男・女決勝 2試合 [花巻市総合体育館]

《 県人出場選手のトピックス 》

(): 出身高校

年代別日本代表候補選手：
早稲田大1年 森田啓亮 CP 185cm (不来方)
国土館大1年 村田知紀 CP 188cm (不来方)
筑波大学2年 安倍千夏 CP 172cm (不来方)
(日本体育大学 佐々木亮輔 GK 192cm 不来方)

主将：**秋田大 熊谷智史(花巻北)**、**早稲田大 馬場祐貴(不来方)**、**法政大 佐々木喬也(不来方)**、
東京女子体育大 吉田起子(不来方)、**東北福祉大 中村ひとみ(不来方)**

兄弟：**富士大3年 森田隆亮 & 早稲田大1年 森田啓亮 (不来方)**

兄妹：**筑波大4年 安倍健太郎(盛岡一) & 同2年 安倍千夏(不来方)**

県人選手：**男子 32人/10チーム 女子 18人/8チーム**

PRESS RELEASE

《 大会中のイベント情報 》

コンディショニング・サポート

トレーナー・サポート：選手および審判員を対象に期間中各会場で実施
 (担当) 全日本学連医科学委員会及び岩手県体育協会医科学委員会トレーナー

コンディショニング講習会 (競技終了後、1時間程度)

- 内 容：「ゲームで100%の力を発揮するためのウォーミングアップ」
- 講 師：全日本学生ハンドボール連盟医科学委員会委員長 永井正之 氏
- 対 象：中高生ハンドボール部員ほか希望者
- 参加料：無料

サービス

場内アナウンス：MC -One 宇野和男ほか
 マンオブザゲーム：勝利チームで活躍した選手へ名産品プレゼントとインタビュー。
 ハーフタイム・ショー

11/5(土)男子準決勝(第2試合)ハーフタイム

「岩手県立大学ダブルダッチサークル『ROPE A DOPE』演技披露」

11/6(日)男子決勝ハーフタイム

「北上翔南高校新体操部による演技披露」

出店：スポーツ用品グッズ「アシックス」、「handball mate」、「IMPAL」

「山水」(そば屋)、「早池峰だんご」 ...1階

「森の店っこや」(総合お土産)、「みちのくコカ・コーラ」 ...2階

大会情報

インカレ特設ページ <http://handballhanamaki.web.fc2.com/>
 岩手ハンドボール応援ページ <http://homepage3.nifty.com/iwate-handball/index.htm>
 リトルハンド <http://abe.ihatov.jp/handball/top.htm>
 日本ハンドボール協会 <http://www.handball.jp/>
 同 インカレ情報 http://www.handball.jp/games/2011/in_col/2011intercollege.htm

以上、どうぞよろしくお願いたします。

文責：岩手県ハンドボール協会 中島昭博
 花巻北高等学校 TEL 0198-23-4134
 携帯TEL 080-1844-4406

PRESS RELEASE

インカレに出場する明日の日本ハンドボール界を背負う

日本ハンドボール協会年齢別強化指定選手

太字(青): 県出身選手 (): 今大会メンバー登録外

<男子> 日本体育大学 関東秋季リーグ優勝(7勝2敗 得失点差 74点)

1989年	信太弘樹	CP	188cm	藤代紫水	右
1990年	木村昌丈	GK	184cm	藤代紫水	右
1991年	藤江恭輔	CP	177cm	北陸	右
1992年	元木博紀	CP	181cm	藤代紫水	左
(1992年	藤田涼平	GK	184cm	北村山)	
(1992年	杉本 翔	CP	170cm	北陸)	
(1993年	佐々木亮輔	GK	192cm	不来方)	
(1993年	佐藤功一	CP	187cm	大分雄城台)	

早稲田大学 関東秋季リーグ2位(7勝2敗 得失点差 69点)

1990年	牧山仁志	CP	180cm	法政第二	右
1991年	山田隼也	CP	182cm	興南	左
1992年	久保二千笑	CP	177cm	岩国工業	右
1993年	森田啓亮	CP	185cm	不来方	右
1993年	内海祐輔	CP	173cm	香川中央	左

日本大学 関東秋季リーグ5位(5勝4敗)

1990年	渡部 仁	CP	183cm	大分舞鶴	左
1991年	石河昴祐	GK	190cm	愛知	右

筑波大学 関東秋季リーグ6位(4勝4敗1分)

1991年	菅野純平	CP	187cm	湯沢	右
1992年	加藤芳規	GK	185cm	浦和学院	右

国士舘大学 関東秋季リーグ7位(4勝5敗)

1991年	濱口直大	CP	185cm	長崎日大	右
1992年	村田知紀	CP	188cm	不来方	右

大阪体育大学 関西秋季リーグ1位(7勝)

1989年	成田幸平	CP	190cm	洛北	右
1990年	植垣健人	CP	180cm	大阪体育大学浪商	左

P R E S S R E L E A S E

<女子> 日本体育大学 関東秋季リーグ優勝（6勝1敗）

1991年 山根エレナ GK 172cm 光南 右

1991年 原 希美 CP 171cm 宮崎学園 右

筑波大学 関東秋季リーグ3位（5勝2敗）

1990年 川俣ゆかり CP 172cm 蒲生 右

1991年 安倍千夏 CP 172cm 不来方 右

1992年 水田愛莉沙 CP 165cm 四天王寺

国土舘大学 関東秋季リーグ4位（3勝3敗1分）

1989年 樽井沙織 CP 162cm 浦和実業学園 左

日本女子体育大学 関東秋季リーグ6位（2勝5敗）

1990年 小菅亜実 CP 170cm 吉井

大阪体育大学 関西秋季リーグ1位（7勝）

1989年 田邊夕貴 CP 170cm 洛北

1990年 河田知美 CP 160cm 高松商業

1991年 角南 涼 CP 168cm 洛北

大阪教育大学 関西秋季リーグ2位（6勝1敗）

1989年 増田寛那 CP 174cm 大分鶴崎

1990年 翁長和佳子 CP 174cm 陽明

1990年 乾 彩友美 CP 172cm 洛北

武庫川女子大学 関西秋季リーグ3位（4勝2敗1分）

1989年 岡田好美 CP 170cm 夙川学院

1992年 竹下佳慧 CP 170cm 四天王寺

以上、日本ハンドボール協会HPより抜粋

平成23年10月25日

報道各社 殿

全日本学生ハンドボール連盟
副会長 福地 賢介

高松宮記念杯 男子第54回・女子第47回

平成23年度全日本学生ハンドボール選手権大会展望送付案内

時下、ますますご清栄の段お慶び申し上げます。毎々、当連盟へのご厚情に感謝致すと共に心よりお礼申し上げます。

東日本大震災にて、高校の選抜大会が中止となり、夏のインターハイ開催が危惧されましたが、地元の関係皆様方の努力で開催され、今回の平成23年度全日本学生ハンドボール選手権大会も、下記の通り、岩手県花巻市において予定通り開催される運びとなりました。

大会展望として別添文書をご送付させて頂きましますので、お取り計らいの程、よろしくお願い申し上げます。

取り急ぎ標題の件にて失礼させて頂きましますが、今後、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 大会名称 高松宮記念杯 男子第54回・女子第47回
平成23年度全日本学生ハンドボール選手権大会
2. 開催月日 平成23年11月02日(火)～06日(日)
3. 開催会場 花巻市総合体育館・花巻市民体育館・富士大学体育館
4. 参加大学 男子32大学・女子24大学(合計56大学)
5. 競技方式 トーナメント方式
6. 参考事項 男女上位2大学(優勝・準優勝)に全日本総合選手権大会出場権が与えられる。

高松宮記念杯 男子第54回・女子第47回

平成23年度全日本学生ハンドボール選手権大会 展望 【全日本学生連盟】

男子は混戦模様ながら、日体大・早稲田・大体大・中京大が有力

女子は、大教大の連覇か、大体大の初優勝が二強の争い平成23年度全日本学生ハンドボール選手権大会は11月2日より6日まで、東西学生選手権大会で出場権を獲得した大学及び、各地区学連から推薦された合計男子32大学・女子24大学が参加し開催される。

男子は、関東学生秋季リーグで上位を占めた日体大・早稲田・明治大・日本大、西日本学生1位の関西大、関西学生秋季優勝の大体大、西日本学生2位の中京大・秋季優勝の中部大の争いと思われるが、絶対的な強さが見られず、混戦模様を呈している。ただ、近年、各地区学連のレベルの均衡化、また、関東などは、毎試合、対戦してみないとわからないと言う様な戦いが続き、トーナメントの一本勝負となると、昨年、ノーシードの国土館が優勝したような波乱も十分考えられる。順当なら第一ゾーン(1～16)は、日体大・中京大・筑波大～中部大の勝者・明治大の争い。第二ゾーン(17～32)は、早稲田～大体大勝者・東海大～国土館の勝者・日本大・関西大の争いと思われる。本年度もベスト4を関東勢が独占できるか、大体大・中京大が一角を崩すか注目される。順当なら、日体大～明治大と中京大の勝者、早稲田と大体大の勝者と東海大と国土館の勝者の勝ち上がりか。日体大は、エース信太を中心に速攻で昨年の雪辱(決勝で敗れる)を果たすか、早稲田も秋季リーグで日体大を破っており、パワフルな攻撃力を見せるが、ややデイファンスにムラが見られ、そこを突かれた場合、大体大の進出もある。

女子は、昨年の決勝対戦の再戦か。大教大は秋季・西日本優勝、大体大が春季優勝しているが、夫々、僅差の勝負であり、大教大の連覇か、大体大が阻み初優勝をするか注目される。この二強に割り込むと思われるのは、武庫川・日体大・東女体と思われるが、夫々攻撃力に波が見られ安定性にやや不足している。

[参考資料 過去の優勝回数]

男子 = 日体大 20回 大体大 9回 芝工大 - 8回
早稲田大・中央大・筑波大 - 各3回 国土館大 2回・他
女子 = 日体大 17回 東女体大 16回 筑波大 11回
武庫川大・大教大 各1回

北海道学連より

函館大学...北海道リーグでは25年連続の優勝となりうれしい節目を迎え、連勝数は249で1987年から今までで、四半世紀道内負け無しという歴史を持っています。今大会は去年のインカレで果たせなかったベスト8を果たしその上も目指して、「一束いくら」でチーム丸となって1つ1つ確実に勝っていきます。

北星大学...今回で8年連続インカレ出場となり、今年こそ初勝利を目指して頑張ります。

注目選手...ハンドボールJHAジュニアアカデミー参加メンバー23人のうち函館大学の館盛寛文が道内の男子でただ一人選ばれました。また、第62回全日本選手権大会に出場した、同アカデミー選抜メンバー入りも果たしました。今年全日本選手権大会にも出場予定です。

東北学連より

富士大学・・・男子は、創部9年目で、三年ぶり五回目の出場となる。東日本インカレで出場権を逃したが、背水の陣で臨んだ秋季リーグ戦を全勝で優勝し、弾みをつけての出場である。地元で、小学校からハンドボールを始めた選手と全国から集まったチームメイト丸となって、地元開催の大会を盛り上げたい。

女子は、創部7年目で、六年連続六回目の出場。最近4年間は、東日本インカレにおいて、レベルの上がった関東下位勢を退けての出場である。特に目立つ選手もおらず、日々2時間半の練習に没頭し、個々の力を育み、チーム力を向上するべく頑張っていることから、チームワークも良く、勢いのあるチームである。

今回の全日本インカレは、東日本大震災のため開催も危ぶまれたが、多くの方々の大変な努力によって実現した地元での大会である。多くの人々に感謝しながら、私達も大会準備に関わってきたことから大変厳しい戦いを強いられると思うが、一戦一戦を勇猛果敢に戦い、一つでも多く勝ち続けたい。

東北福祉大・・・23年連続24回目の出場となりますが、今回は東北開催のインカレでありますので今まで以上に熱い闘いをし、粘りと根性で、上位に進出できるよう一戦一戦頑張っていきたいと思えます。

秋田大学・・・男子部は22年前に東北最下位から始まり、昨年は春季で1部初優勝、そして今年の春を含めリーグで3連覇できるまでになり、新入生が13人いることが自慢です。2年連続5回目の出場となるこのインカレで初の初戦突破を目指します。

女子部は創部してからずっと少数精鋭？ですが、私立大にも勝ったり負けたりして6年ぶり7回目のインカレで、初戦突破を目指します。

男女アベック出場は、11年ぶり2回目となります。男女とも飛び抜けた選手はいませんが、まとまりの良さを武器に、一生懸命闘います。

関東学連より

男子秋期リーグ戦の結果

優勝	日本体育大学	7勝2敗	得失点差	74点
2位	早稲田大学	7勝2敗	得失点差	69点
3位	明治大学	6勝2敗1分		
4位	東海大学	6勝3敗		
5位	日本大学	5勝4敗		
6位	筑波大学	4勝4敗1分		
7位	国土舘大学	4勝5敗	得失点差	10点
8位	中央大学	4勝5敗	得失点差	-20点
9位	明星大学	1勝8敗		

今期リーグ戦も上位2大学以下(3位~7位)は最終戦の結果しだいで、順位が入れ替わる激しい戦いとなった。

注目選手

日本体育大学 : 信太 弘樹(主将)・元木 博紀(共にナショナル候補選手)

早稲田大学 : 馬場 佑貴(主将)・久保 龍太郎

明治大学 : 寺田 弘太(主将)・池辺 大貴(今期得点王)

東海大学 : 津屋 大将・横山 克人(主将)

5位以下も各チーム主要選手があり、対戦間の相性も踏まえ混戦が予想されます。

女子秋期リーグ戦の結果

優勝	日本体育大学	6勝1敗	得失点差	34点
2位	東京女子体育大学	6勝1敗	得失点差	30点
3位	筑波大学	5勝2敗		
4位	国土舘大学	3勝3敗1分		
5位	東海大学	3勝4敗		
6位	日本女子体育大学	2勝5敗		
7位	早稲田大学	1勝5敗1分		

注目選手

日本体育大学 : 小稲 美佳(主将)・原 希美

東京女子体育大学 : 吉田 起子(主将)・安齋 早紀

筑波大学 : 中西 朋代(主将)・川俣 ゆかり

国土舘大学 : 福井 美樹(主将)・樽井 沙織

打倒、関西に各チームが奮闘することと思います。

北信越学連より

代表チームは男子信州大学(2年ぶり6回目の出場)、女子富山国際大学(4年連続4回目の出場)です。

信州大学は、双子の小岩空、小岩海が左右両エースを務めています。インカレの予選である秋季リーグ戦では、この二人を中心に、昨年敗れた金沢大学との接戦を制し、その他は危なげのない内容で全勝して代表となりました。インカレは6回目の出場で、初戦突破が目標です。ちなみにハンドボールとは直接関係はありませんが、話題として二人は医学部であり、また、スキーモーグルの長野県の強化選手でもあります。

富山国際大学は、ノミファとキムソユンの、二人の韓国人選手が中心のチームで、リーグ戦では全ての試合を危なげない内容で、全勝優勝を飾りました。インカレでは過去3年連続初戦敗退をしておりますから、今年こそは突破したいと意気込んでいます。

北信越学連は、男子は特に一部リーグ所属のチームは一切スポーツ推薦などがないチームばかりですから、自主的にハンドボールをプレーしているチームばかりですので、他地区の代表に比べればレベルは下がる場合が多いですが、みんなハンドが好きで、一生懸命に頑張っています。

東海学生連盟より

秋季リーグ戦の結果（男子）

- 中部大学（8勝1敗0分）
- 名城大学（7勝1敗1分）
- 中京大学（7勝2敗0分）
- 大同大学（6勝2敗1分）
- 朝日大学（5勝3敗1分）
- 岐阜聖徳学園大学（3勝5敗1分）
- 愛知大学（2勝6敗1分）
- 岐阜大学（2勝6敗1分）
- 愛知教育大学（1勝7敗1分）
- 名古屋大学（0勝8敗1分）

今大会には、東海学生の伝統校である、中部大・名城大・中京大・大同大の4校に加え、元日本代表監督・田口隆氏率いる岐阜聖徳学園大が初の出場となる。中部大は筑波大と、名城大は日本大、大同大は日体大とのカードとなり、関東強豪校との初戦を突破できればトップに駆け上がる可能性大である。秋季リーグ戦で見事優勝し復活した中部大、インカレ優勝経験のある名城大、西日本インカレ準優勝の中京大、インカレ優勝回数最多を誇る日体大へ挑む大同大、初陣で堅守速攻の岐阜聖徳学園大の戦いぶりをぜひ見ていただきたい。

注目選手

- 中部大 : 下道健人 G・横川淳平・須坂佳祐
- 名城大 : 柳 匠郎・柳 雄大・伊藤浩太郎 G
- 中京大 : 藤戸量介 G（主将）・成田有智・新井翔太
- 大同大 : 土屋祥平（主将）・神林健二・安藤寿樹
- 岐阜聖徳学園大 : 近藤 圭・白川友裕・岸本卓也

秋季リーグ戦の結果（女子）

- 中京大学（6勝1敗0分）
 - 大同大学（5勝1敗1分）
 - 東海学園大学（5勝1敗1分）
 - 愛知教育大学（4勝3敗0分）
 - 名古屋文理大学（4勝3敗0分）
 - 至學館大学（2勝5敗0分）
 - 岐阜大学（1勝6敗0分）
 - 南山大学（0勝7敗0分）
- 2-3位の順位は総得点数による。
4-5位の順位は直接対決による。

昨年は、インカレ出場を逸したが、東海で春・秋のリーグを制した中京大と女子U-24 現監督・齋藤慎太郎氏率いる大同大が初の出場となる。

注目選手

- 中京大 : 松井那都美 G・比嘉桃子・藤田佳保里

関西秋季リーグの概要

紀伊半島を襲った台風の影響でリーグ戦の日程の急遽変更などもあり、男子は予想外の結末で終了した。

男子は関西リーグ13連覇中の大阪体育大学と、夏の西日本インカレで優勝した関西大学との頂上対決と見られていたが、関西大学がリーグ中盤で大阪経済大学、桃山学院大学と2敗を喫し、優勝戦線から脱落し、4位となった。どのチームからの挑戦も退け危なげなく勝利した大阪体育大学が14連覇を成し遂げた。

西日本インカレ王者の関西大学から勝利を奪った桃山学院大学が2位、大阪経済大学が3位となった。3位の大阪経済大学から勝利をもぎ取るなど関西学院大学が健闘し5位、春季リーグ・西日本インカレ共に3位と好調だった同志社大学は失速し6位、西日本インカレで台風の目となった立命館大学も1部昇格明けの壁を越えられずに7位、1勝も挙げられず京都産業大学は8位となり、入れ替え戦では天理大学に敗北し2部降格となった。

女子は予想通り、前年度全日本インカレの決勝進出の大阪教育大学、大阪体育大学の2強を中心の展開となった。両チーム全勝で迎えた最終戦は、終始ペースを掴んだ大阪体育大学が西日本インカレの雪辱を果たし、春季リーグに続き連覇した。点差以上に全く良いところなかった最終戦だったが、他の試合は地力を見せつけた大阪教育大学が2位となった。2強には及ばず、また試合によっては不安定なゲーム運びで取りこぼしもあった3番手争いは、3位武庫川女子大学、4位天理大学、5位関西大学となった。実力が出せず不完全燃焼に終わった感のある同志社大学が6位、7位に立命館大学となった。春に昇格したが全敗で龍谷大学が8位となり、入れ替え戦では京都教育大学に敗れて2部に降格した。

注目選手

男子	GK(キーパー)	CP(コートプレイヤー)		
大阪体育大		3植垣 貴志	4植垣 健人	10成田 幸平
桃山学院大		14松岡 正紘	17黒田 明宏	
大阪経済大		8上間 善匡		
関西大	1 森 賢太郎	7中嶋 翔	4平木 啓介	
関西学院大		11判田 伊久馬		
同志社大		6児玉 純平	3小山 亮	11萩原 崇史
立命館大		9坂本 周弥		
京都産業大		10笠原 宏		
女子	GK(キーパー)	CP(コートプレイヤー)		
大阪体育大		8田邊 夕貴	5塩見 綾香	3河田 知美
大阪教育大		15森脇 奈菜	5乾 彩友美	8松村 杏里
武庫川女子大		3岡田 好美	2中村 麻希	7辰谷 春奈
天理大		3万谷 由衣	4辻 珠美	
関西大	1上山 史織	4土井 茉那	7竹中 梨沙	
同志社大		2太田 光咲		
立命館大学		6前 奈宜紗		

全日本インカレ展望

男子は関東をはじめ各地区強豪チームがひしめいており、ここ最近ベスト4に進出できておらず、ベスト4進出目指して躍進して欲しい。女子は昨年同様、あるいは昨年以上の躍進、つまり4強独占を期待したい。

中四国学生連盟より

【注目選手】

男子 高松大学 GK 玉城亮大 CP 中村俊一郎, 又吉裕喜, 池上直輝

女子 環太平洋大学 GK 愛久澤沙絢 CP 横嶋 彩, 中村綾香

【展望】

高松大学...GK 玉城, DF 富田を中心としたアグレッシブな DF から速攻を活かせるかがカギ。セットオフェンスではセンター又吉が組み立てる多彩な攻撃が, 関東の強豪チームにどれだけ通用するか。まずは初戦突破を狙う。

環太平洋大学...GK 愛久澤を中心とした固い守りからの速攻がどれだけ通用するか。攻撃では, センター横嶋を中心としたスピーディーな展開からどこからでも得点がとれる。

九州学生連盟より

<男子>

福岡大・・・初戦を突破すれば、ここ数年間、2回戦で跳ね返され続けている日体大との対戦が濃厚。今年こそは壁を破り、そのまま頂点を目指したい。福岡大のチームカラーは「チーム力」といえるが、今年のチーム力を支えるのは、20番西川と13番西村。今年の福大を引っ張る主将・副主将は、歴代の中でもリーダーシップや勝負へのこだわり、ムードづくりまで含めても群を抜く。九州の雄・福岡大が久しぶりに全国で輝くためにも、2人のコートでの輝きがカギを握る。

福岡国際大・・・東和大時代からの選手が卒業し、福岡国際大として入学した選手が最上級生になる集大成の年となる。九州春季リーグから怪我人の連続であったが、ここにきてようやくベストメンバーが揃い、格上の相手にも臆することなく戦う陣容が整った。

注目選手は、7番喜納。喜納のでき次第で上位進出も十分に期待できる。16番小川の流れを変えるキーピングも大きなキーポイントになる。

<女子>

福岡大・・・昨年から大量の4年生が卒業し、苦しい1年間だったが、最後の仕上げは順調に進んだ。福大の歴代ナンバーワン遠投力の15番中道が注目株。男子同様、ここ数年間でインカレでは必ず対戦している日女体大との初戦が大一番になる。

福岡教育大・・・1回戦注目の好カードとなる vs.早稲田大から、関西大、日体大と強豪ばかりの組合せとなったが、「初戦から丁寧に試合を運ぶ」と確かな手応えを感じている。

西日本インカレでは、近年にない悔しい結果となったが、九州秋季リーグではきっちりと雪辱し、選手の意気も高い。キャプテンで大黒柱の16番伊藤の活躍で、台風の目となる可能性十分。